

講義科目	: 臨床栄養学	単位数	: 2
担当	: 石橋 智奈美	学習形態	: 選択科目
			栄養士免許必修科目
		実務経験	: 有

### 講義の内容・方法および到達目標

臨床分野における栄養マネジメント業務を遂行していく上で、疾病の成り立ちを理解することは不可欠です。近年の医療制度の変化は著しく、臨床分野の栄養業務は大きく変化しています。傷病者の病態や栄養状態に基づいた栄養管理を理解し、医療・介護制度や医療チームにおける栄養管理の役割を理解することが目的です。また、疾病の症状を改善させるために、病態の正確な理解と栄養状態の的確な評価を学習し、臨床栄養学実習の基礎となる知識を習得します。

### 授業計画

- 第1回 オリエンテーション、臨床栄養学の概念
- 第2回 栄養食事療法・栄養補給法
- 第3回 消化器疾患の病態生理と栄養食事療法
- 第4回 糖尿病の病態生理 糖尿病の病因、合併症
- 第5回 糖尿病の治療の意義と栄養食事療法
- 第6回 脂質代謝異常症、肥満症の病態生理
- 第7回 脂質代謝異常症、肥満症の栄養食事療法
- 第8回 肝臓、胆嚢、膵臓疾患の病態生理と栄養食事療法 小テスト
- 第9回 循環器疾患(高血圧・動脈硬化など)の病態生理と栄養食事療法
- 第10回 腎臓疾患(腎不全・慢性腎臓病)の病態生理
- 第11回 腎臓疾患(ネフローゼ症候群・糖尿病性腎症・透析)の病態生理
- 第12回 腎臓疾患の栄養食事療法
- 第13回 筋・骨格系疾患の病態生理と食事療法
- 第14回 免疫・アレルギー疾患の概要と栄養食事療法
- 第15回 摂食機能低下の概要と栄養食事療法

### 教材・テキスト・参考文献等

- テキスト：臨床栄養学概論 友竹浩之・塚原丘美編 講談社  
 参考書：臨床栄養学 佐藤和人・本間健・小松龍史編 医歯薬出版(株)

### 成績評価方法

- ・出席(15%)、小テスト(30%)、定期試験(55%)により評価します。
- ・定期試験期間中に定期試験を実施します。
- ・全授業回数の3分の2以上の出席がない場合、評価の対象外となります。

### 実務経験

医療法人に勤務し、入院時食事療養、入院患者の栄養管理業務に従事しています。実務経験を活かし、病態毎の栄養管理に必要な専門知識を習得できるように努めます。

### その他

病気の成り立ちと栄養食事療法などについて解説しますが、講義時間内では、基本疾病から派生する病態についての解説は難しいため、予習・復習が必須です。臨床栄養学実習を受講する上での基礎を学習します。